

2020年2月3日
丸紅株式会社

秋田県秋田港及び能代港における洋上風力発電プロジェクトの実施、及び融資契約の締結について

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）は、2016年4月に設立した特別目的会社「秋田洋上風力発電株式会社」（以下、「AOW」）を通じ、株式会社大林組、東北自然エネルギー株式会社、コスモエコパワー株式会社、関西電力株式会社、中部電力株式会社、株式会社秋田銀行、大森建設株式会社、株式会社沢木組、協和石油株式会社、株式会社加藤建設、株式会社寒風及び三共株式会社（以下、「共同事業実施者」）と共同で、秋田県秋田港及び能代港において、日本国内で初の商業ベースでの大型洋上風力発電事業となる着床式洋上風力発電所及び陸上送変電設備（以下、「洋上風力発電所」）の建設・保守・運転を行うプロジェクト（以下、「本プロジェクト」）を実施することを決定し、本日、本プロジェクトにかかわる融資契約を締結（以下、「本融資」）しました。

本融資は、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行が共同主幹事行となり、国内外の金融機関による協調融資で組成されるプロジェクトファイナンスです。

丸紅は、秋田県が県内の再生可能エネルギーの導入拡大及び産業振興を目的として実施した「秋田港及び能代港における洋上風力発電事業者の公募」に応募し、2015年2月5日に事業者として選定されました。その後、丸紅が設立したAOWに共同事業実施者が出資参画し、開発可能性調査を実施した結果、今般事業化決定に至ったものです。

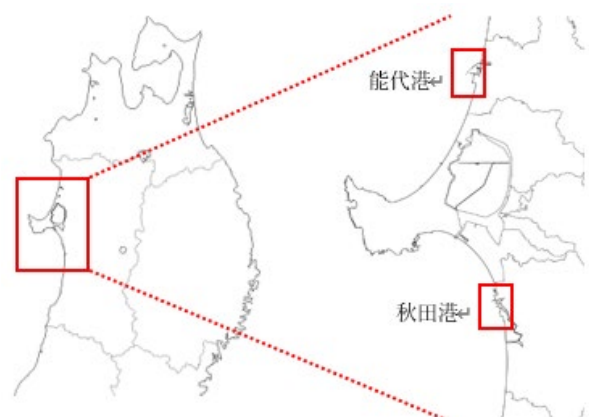
本プロジェクトは、発電容量約140MWの洋上風力発電所を建設・保守・運転し、完工後20年間に亘り再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づき東北電力株式会社に売電するものです。2020年2月中に陸上送変電部分の着工を予定しており、2022年の商業運転開始を目指します。操業中は、能代港を拠点として保守・運転を行う予定です。

丸紅はサステナビリティ推進の一環として、世界の気候変動対策への取組みに貢献すべく、2018年9月に発表した石炭火力発電事業及び再生可能エネルギー発電事業に関する取組み方針に基づき、今後も積極的に再生可能エネルギー発電事業の開発に取り組んでいきます。

<本プロジェクト概要>

事業会社： 秋田洋上風力発電株式会社
（代表者：代表取締役社長 岡垣 啓司）
所在地： 秋田県秋田市、能代市（港湾区域を含む）
発電容量： 約140MW
総事業費： 約1,000億円
発電形態： 着床式洋上風力
売電先： 東北電力株式会社
運転開始： 2022年（予定）
売電期間： 20年間

【所在地地図】



<関連プレスリリース>

・2016年7月27日

秋田県秋田港及び能代港洋上風力発電事業への開発可能性調査共同実施について

<https://www.marubeni.com/jp/news/2016/release/20160727.pdf>

・2018年9月18日

サステナビリティへの取組み方針に関するお知らせ

(石炭火力発電事業及び再生可能エネルギー発電事業について)

<https://www.marubeni.com/jp/news/2018/release/00036.html>

以上